

美濃市の高齢者の 消費者被害の防止について

美濃市 産業課 消費生活相談窓口

美濃市の消費生活相談窓口について

地域概要

- ・人口 21,181人
- ・高齢化率 33.1% (7,006人)

(H29.7.31現在)

担当する消費生活窓口の概要

産業課 消費生活相談窓口

消費者行政担当職員1名、消費生活相談員 1名

美濃市における高齢者相談

過去5年間の相談状況

高齢者相談の割合(60歳以上)

48%

約半数は高齢者の相談。

高齢者の主な相談内容(60歳以上)

	件数	割合
電話勧誘	26	27%
家庭訪問	10	10%
インターネット通販	7	7%
詐欺	7	7%

相談内容としては、1位は電話勧誘、2位が家庭訪問、3位がインターネットというのが、美濃市の特徴

高齢消費者被害防止推進モデル事業

高齢者学級(梅山大学)に事業を委託

- ・高齢者学級(梅山大学)に対して啓発用品等の配布
- ・サポーター研修の実施(岐阜県弁護士会への依頼)
- ・消費生活カレンダーの配布
- ・消費生活講演会の実施(梅山大学卒業式に開催)
- ・高齢消費者アンケートの実施

梅山大学とは

- 美濃市内で高齢者が生涯学習活動を行う一番人数が多い団体
(盆栽クラブ、三味線クラブ、書道クラブ、詩吟クラブ、歌謡クラブ、ダンスクラブ、合唱クラブ、アルキニストクラブ、大正琴クラブ、文芸クラブで構成)
- その他に役員として、運営委員会、クラブ長会が存在。

学生数 約300人

啓発用品の配布

・梅山大学入学式



学生270人に対して梅山大学役員が
啓発グッズを配布

サポーター研修



各クラブに対して消費生活の見守りができるよう、
岐阜県弁護士会へ講座を依頼し、開催。

消費生活カレンダ－の配布



・岐阜県 県民生活相談センター
製作の消費生活カレンダ－を学生
300名に配布。もっとも啓発グッ
ズで好評を得た。

消費生活講演会



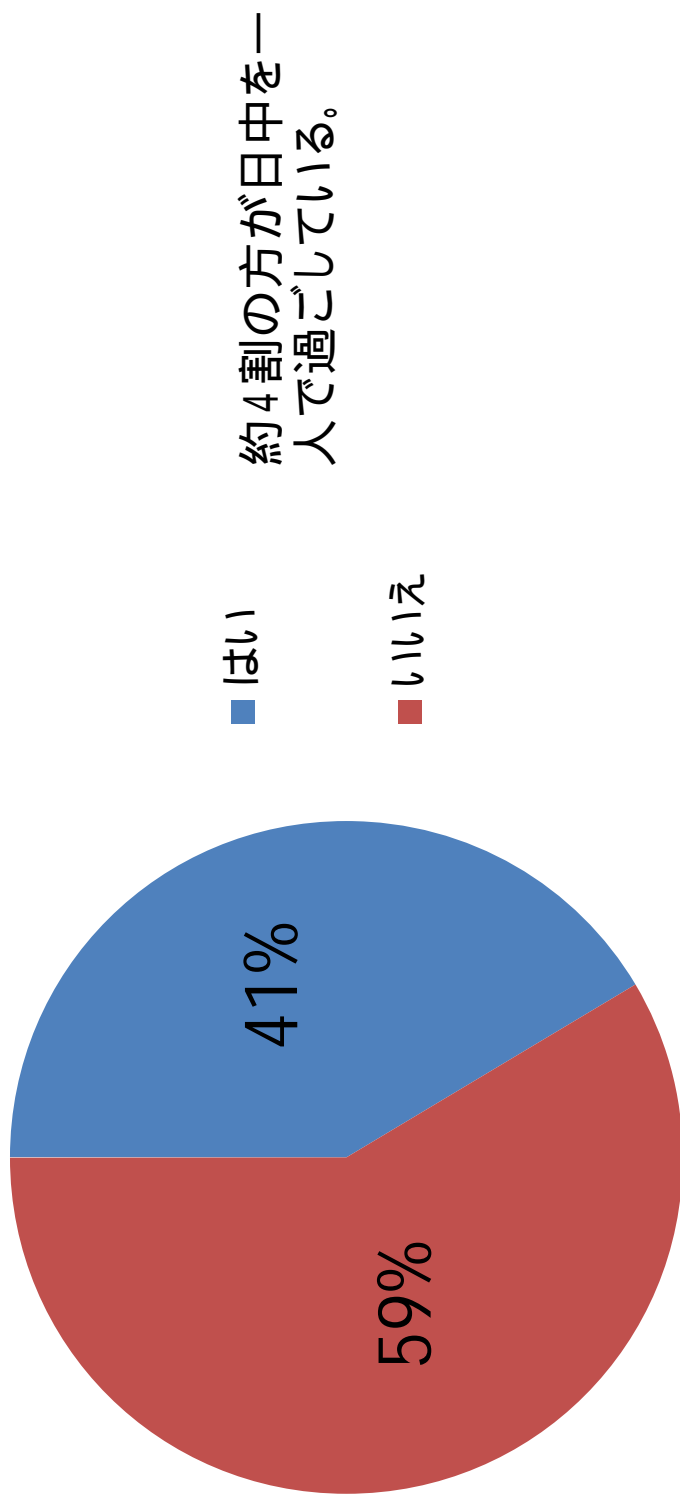
- ・学生270人及び一般観覧者30人に合計300人対して梅山大学役員が啓発グッズを配布



- ・女優藤田弓子氏を迎えての講演会を実施し、消費生活問題への意識向上及び、多くの方に啓発パンフを渡すことができた。

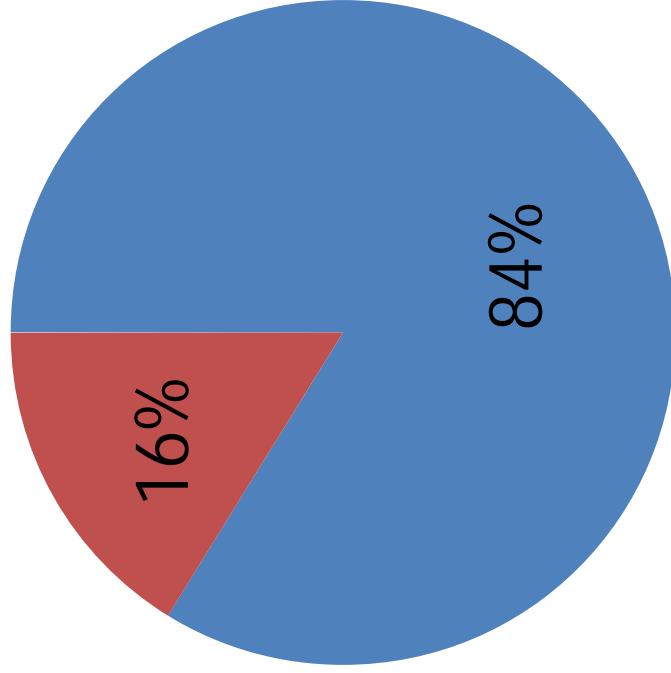
消費生活アンケート

日中一人で過ごす人の割合



消費生活アンケート

自分で電話をとることが多いか



現役世代との同居を問わず、高齢者の方が自分で電話をとることが多い

■ はい

■ いいえ

高齢者被害防止モデル事業での狙い

- 梅山大学の有効活用

家で一人で過ごす高齢者にできる限り外へ出てきて、いろいろな人とのコミュニケーションの機会の提供。(何かをはじめて、暇を与えない)

- 消費生活サポーターとしての自覚

消費生活サポーターとしての講座を受けて、近所の人に目を配る事、自分自身も気を付けなければならぬ意識付け。

現在までの取り組み

- 相談窓口だけでは、限界があり「協力者」が必要（H27年までは毎月の広報での消費者問題の情報提供） 梅山大学への事業委託
- 梅山大学以外の協力者も必要 身近で地域性に応じた見守りネットワークの必要性。
- H29年度より民生委員に出前講座を開始
- 口コミにより自治会（サロン・敬老会）より出前講座の依頼がでてきた。

今後の高齢者見守り ネットワーク構築に向けて

